

50年の歩みを力に、 世界のモノづくりと 未来を創っていきます



代表取締役 CEO 社長執行役員
原 祐次

▶ 主力事業が堅調に推移し、2025年12月期の業績は大幅な増収増益となりました

株主の皆様には平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

2025年12月期は、工作機械事業を中心に主力事業が堅調に推移し、前期比で大幅な増収増益となりました。売上高は805億72百万円(前期比9.4%増)、営業利益は42億24百万円(同89.4%増)、経常利益は52億31百万円(同44.2%増)、当期純利益は45億14百万円(同9.7%増)となりました。地政学的リスクや関税政策の影響から、先行

きの不透明感が継続しているものの、生成AI普及に伴うデータセンター向け光コネクタを中心としたAIインフラ投資や、航空宇宙関連の設備投資の拡大などによる需要が堅調に推移しました。当社では、当該分野の需要は今後も拡大基調が続くものと見込んでおります。こうした事業環境の変化を的確に捉え、持続的な成長と企業価値向上を実現すべく、当社では中長期視点での成長戦略の推進に取り組んでおります。

▶ 次の50年への指針として制定した理念体系のもと、売上高1,000億円の達成を目指します

2026年8月、当社は設立50周年を迎えます。これまで当社の成長を支えてくださった株主の皆様には心より感謝申し上げます。

昨年は、経営管理体制の高度化やグローバル戦略の加速を目的に、経営戦略の実行力を一段と高め、持続的な成長のための基盤強化を図ってまいりました。こうした変革を進める中で迎える設立50周年という節目を、これまでの50年を礎に、次の50年に向けた成長をより明確に打ち出す重要な転換点と位置づけています。この節目にあたり、次の時代を切り拓いていくという決意を示すため、「Grow Forward in the Next Era —新たな時代の中でさらなる成長へ—」を50周年のテーマとして掲げました。そして、次の50年に向けて当社が目指す姿として、新たな理念体系(PURPOSE、MISSION、VISION、VALUE)を制定いたしました。

この理念体系のもと、当社が目指す姿を明確に示したものが中期経営計画です。2026年12月期より、中長期の方針に基づき着実な成長を達成していくため、期間を4年としたコミットメント型の計画とし、2029年12月期のありたい姿として、売上高1,000億円、営業利益100億円を掲げました。これは当社が今後の持続的な成長を目指す上でのファーストステップです。非常に高い目標ではありますが

ますが、さらなる成長を成し遂げるためには必ず達成しなくてはならない通過点です。何よりも、明確な数値目標を掲げることで、会社として、各事業として、そして従業員一人ひとりがやるべきことが明らかになり、具体的な行動へとつながります。そうした一つひとつの行動が当社の成長には何よりも欠かせないものであると考えています。その結果として、中期経営計画を実現することで、全ての国や地域、あらゆる産業のモノづくりにおいて不可欠な存在となることを目指し、モノづくりの進化と持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

■ 中期経営計画の各種指標

	25年12月期 実績	26年12月期 予想	29年12月期 目標	25年12月期 →29年12月期
売上高	805億円	885億円	1,000億円	+5.5%/年
営業利益 営業利益率	42億円 5.2%	55億円 6.2%	100億円 10.0%	+24.0%/年 +4.8pt
PBR	0.5倍	—	1.0倍	+0.5倍
ROE	5.2%	5.6%	8.0%	+2.8pt
EPS	89円	100円	130円	+41円

▶ 配当方針を見直し、株主の皆様へより一層の還元を目指します

中期経営計画に掲げた損益目標および財務指標の達成に向け、資本効率の向上と企業価値の持続的な成長を明確に示すとともに、株主の皆様との中長期的な利益分配をより強化することが重要であると考えております。そこで、配当については減配を行わないことを基本とする累進配当方

針を採用するとともに、中期経営計画期間の4年間は総還元性向70%以上を目標とする方針へ見直しを行いました。

今後、株主還元の透明性と予見性を高めてまいりますので、株主の皆様には、一層のご理解と当社へのご支援を賜りますようお願いいたします。